

千葉商科大学付属高等学校

平成30年度 保護者・生徒・教員アンケート

質問A

- 1.学校の教育目標や方針が教育の中で大切にされている。
- 2.教育目標を具現する教育について、学校からの説明が十分である。
- 3.学校の教育目標でかかげた理想に近づくような教育が実施されている。
- 4.学科やコース別の教育がご子女の成長に生かされている。
- 5.学習習慣や学習意欲が身に付くための指導が行なわれている。
- 6.教材や教授法に工夫を凝らし、丁寧で分かりやすい授業である
- 7.授業の進み方が適切で、生徒に分かり易い授業である
- 8.朝学習、小テスト、習熟度別授業などにより学習効果が上がっている。
- 9.礼法、服装、頭髪などの基本的な生活習慣を遵守する指導を徹底している。
- 10.教員は、学校で発生する問題を見逃さず対応してくれている。
- 11.悩みや困ったことがあった時、教員(担任以外を含めて)に相談することができる。
- 12.授業や課外学習などの学校の学習で、希望する大学受験に対応できる。
- 13.進路および学習指導に関する説明会・懇談などが充実している。
- 14.部活動は充実している。
- 15.合宿講習、修学旅行、柏葉祭、記録会などの学校行事・校外活動がご子女の成長に寄与している。
- 16.担任は家庭との連絡を大切にしている。
- 17.ホームページの内容は十分であり、タイミングよく適切な情報が提供されている。
- 18.ご子女が家庭で学校の話をすることが多い。
- 19.現在の担任の指導に満足している。
- 20.現在の学年の運営に満足している。
- 21.教職員は、職務にふさわしい服装、節度ある行動、態度がとれている。
- 22.学校の防犯、防災をはじめとする安全管理は充実している。
- 23.学校は、病気予防・保健衛生の対策をしっかりとしている。
- 24.系列の千葉商科大学に進学させたいと思う。
- 25.【1年生のみ回答】iPadは有効に活用され、授業の理解に役立っている。

【質問A】評価得点の算出方法と評価の目安

●設問の評価得点の算出方法

各項目の評価得点は、全回答数から「わからない」の回答数を除き、下記のように加重平均化して算出

「とても当てはまる または 大変満足している」……………+3点

「当てはまる または 満足している」……………+1点

「あまり当てはまらない または あまり満足していない」…-1点

「当てはまらない または 満足していない」……………-3点

●評価得点の評価目安

+2以上 : 大半の回答者が高い評価をした項目

+1以上 : 2/3以上の回答者が肯定的である評価の高い項目

+0.4~+0.9: 半数強の回答者が肯定的である項目

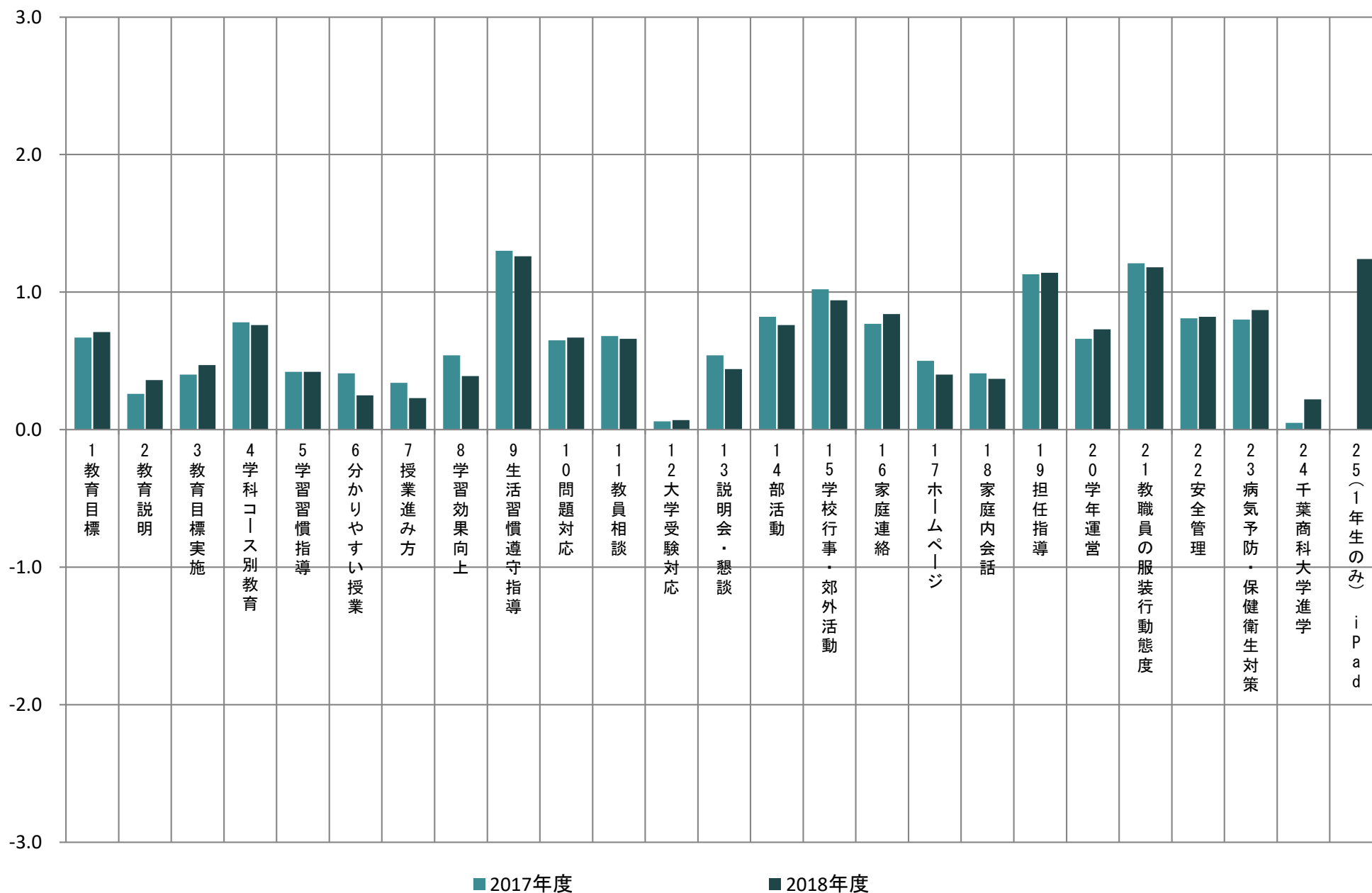
-0.3~+0.3 : 肯定、否定が拮抗した不満の芽となる要注意項目

-0.9~-0.4 : 否定的な回答者が多い不満解消を検討すべき項目

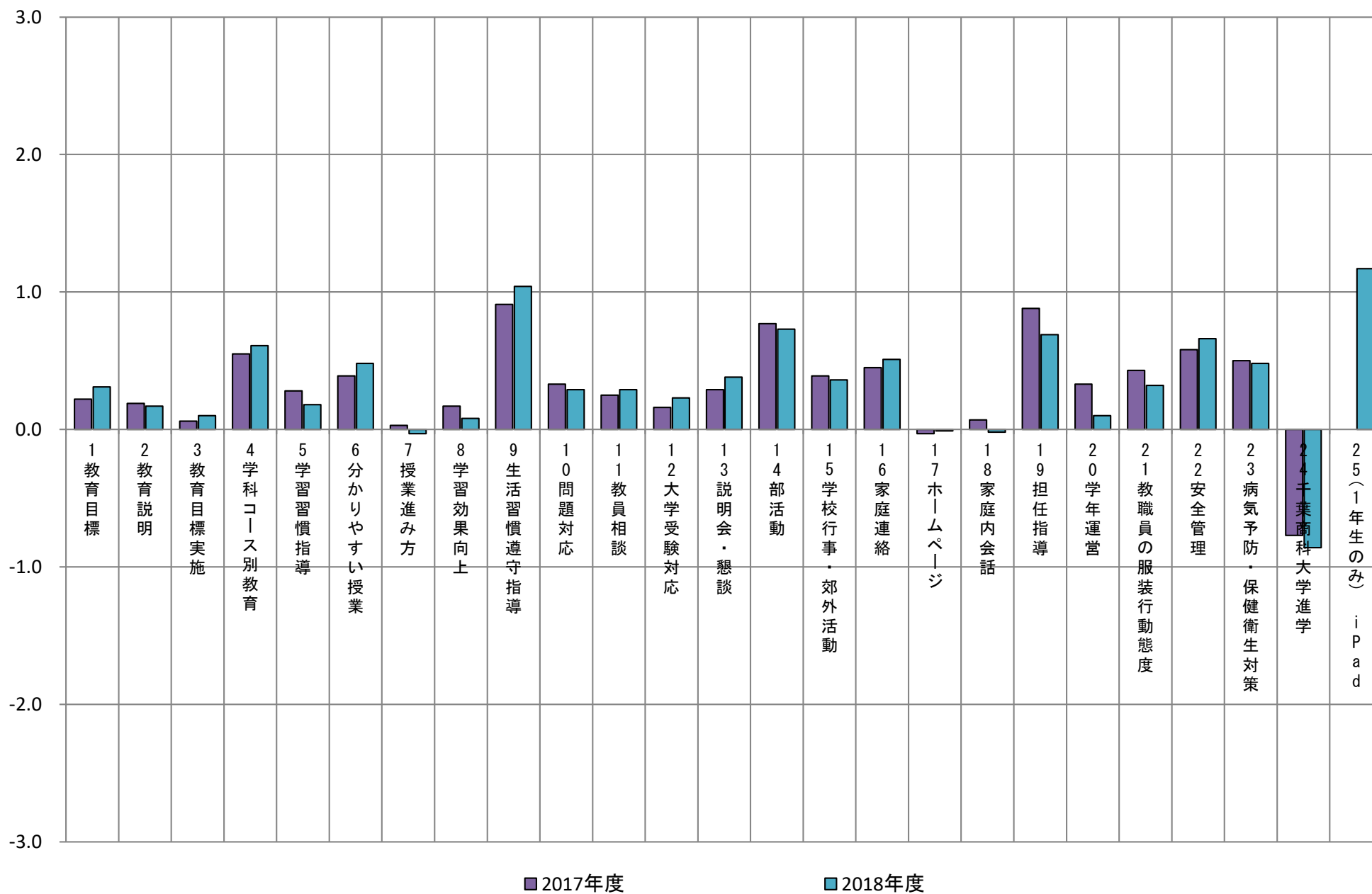
-1以下 : 2/3以上の回答者が否定的な不満の大きい改善を要する項目

-2以下 : 大半の回答者が低い評価をし、すぐにでも改善を要する項目

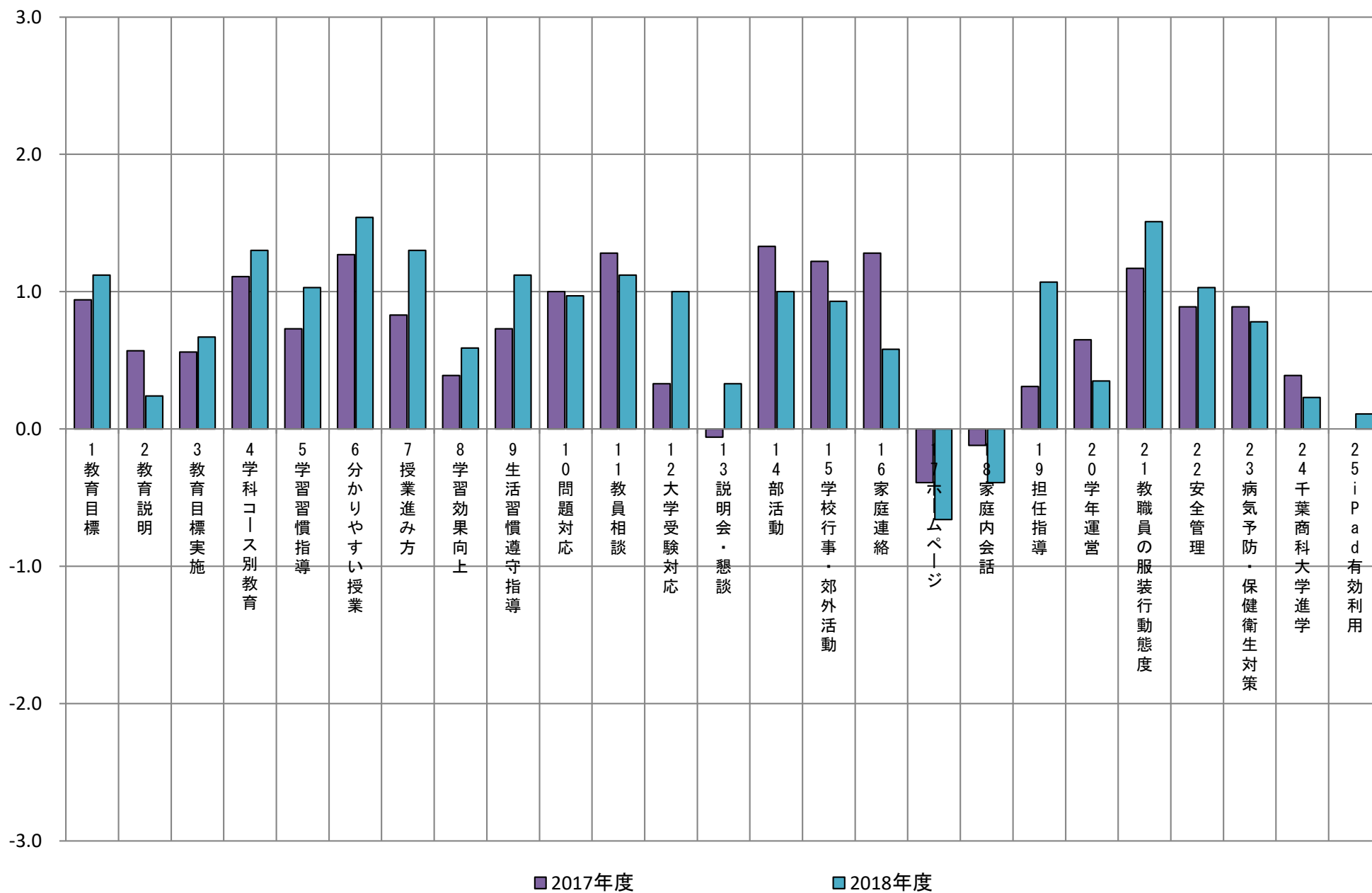
【質問A】各項目の評価得点／保護者 年度比較／2017年度～2018年度



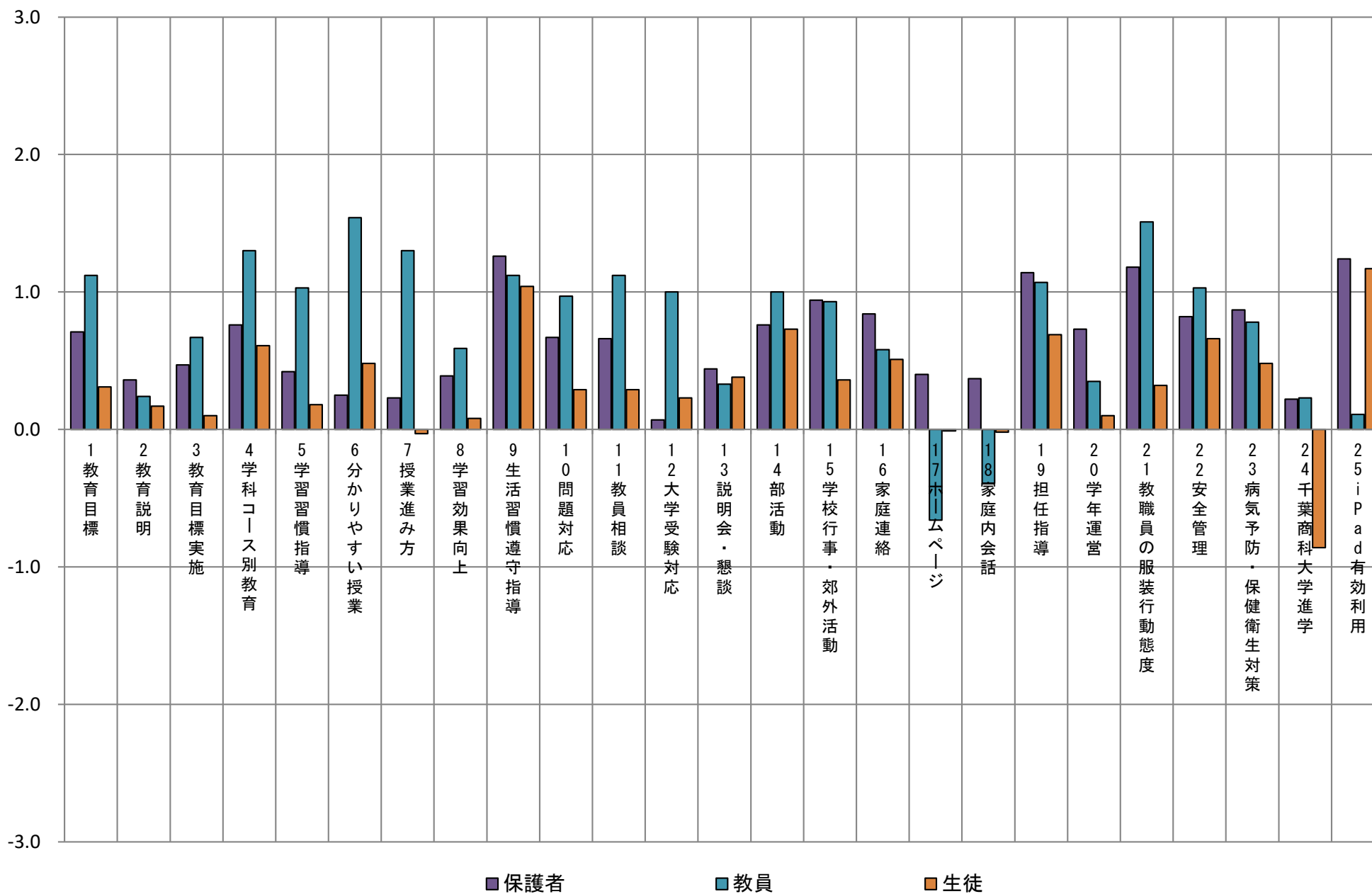
【質問A】各項目の評価得点／生徒 年度比較／2017年度～2018年度



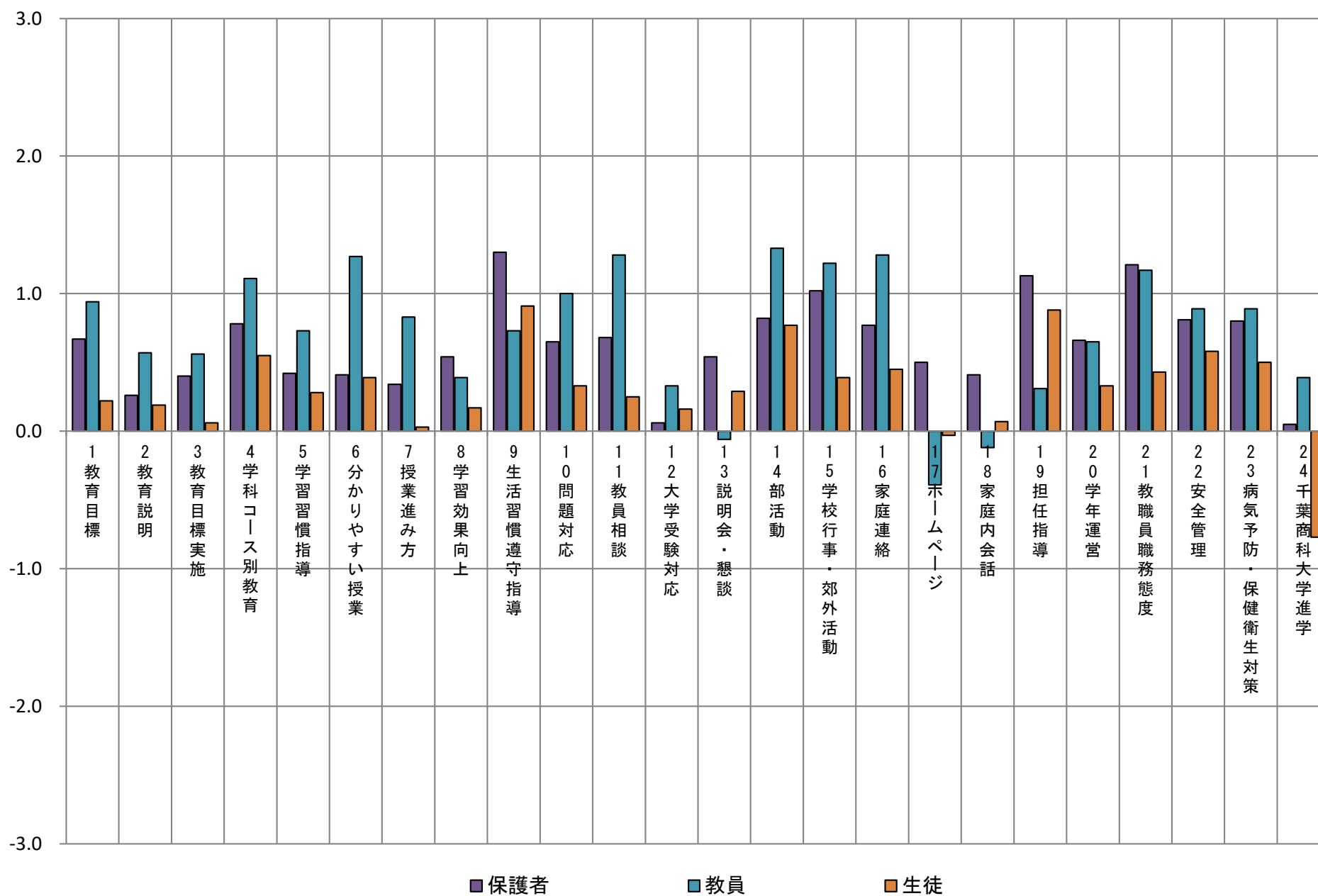
【質問A】各項目の評価得点／教員 年度比較／2017年～2018年



【質問A】各項目の評価得点の比較／保護者・教員・生徒 2018年度

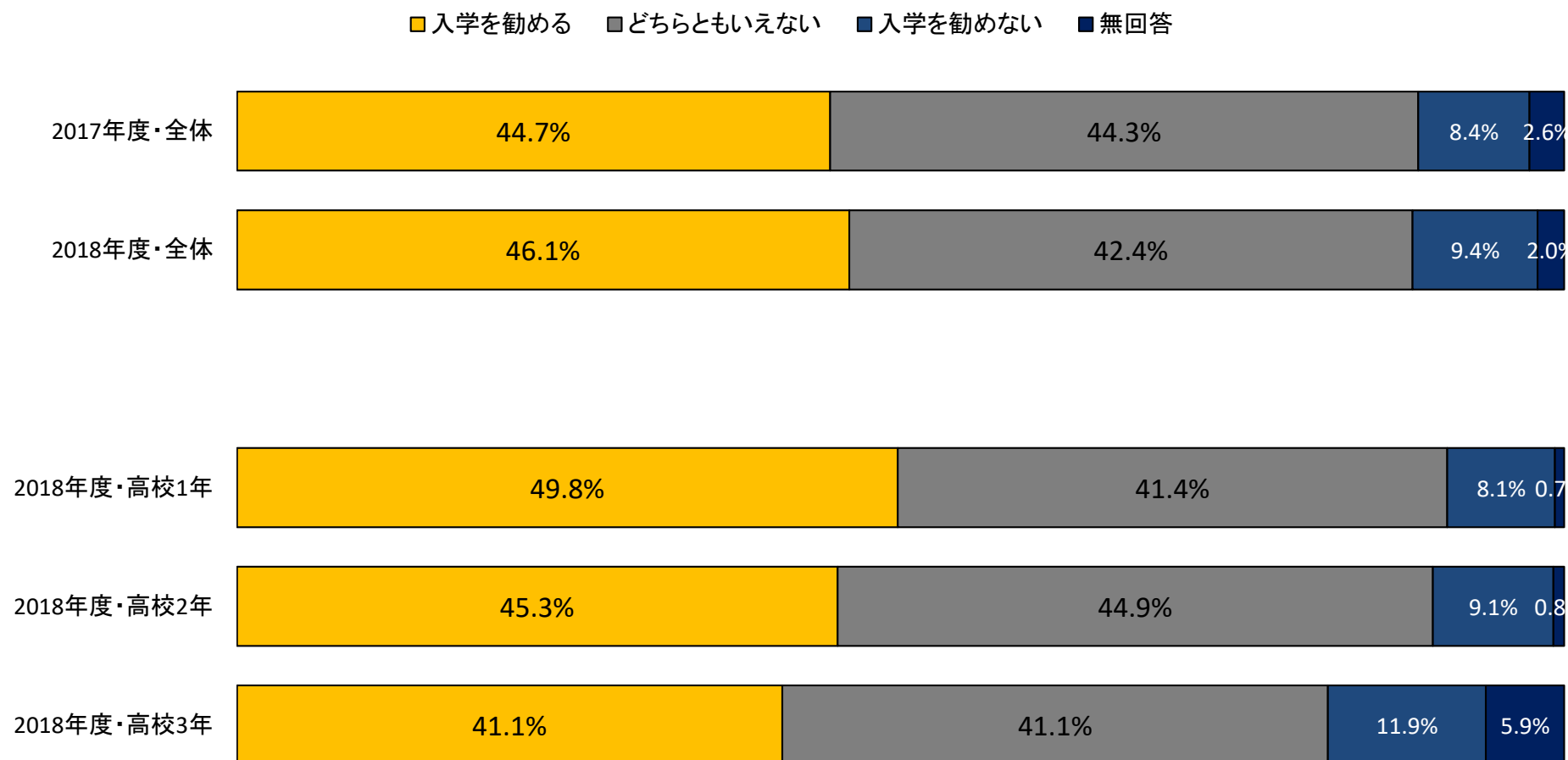


【質問A】各項目の評価得点の比較／保護者・教員・生徒 2017年度



【質問B】入学推奨度の比較／保護者（2017年度－2018年度） 年度別比較＋学年別比較

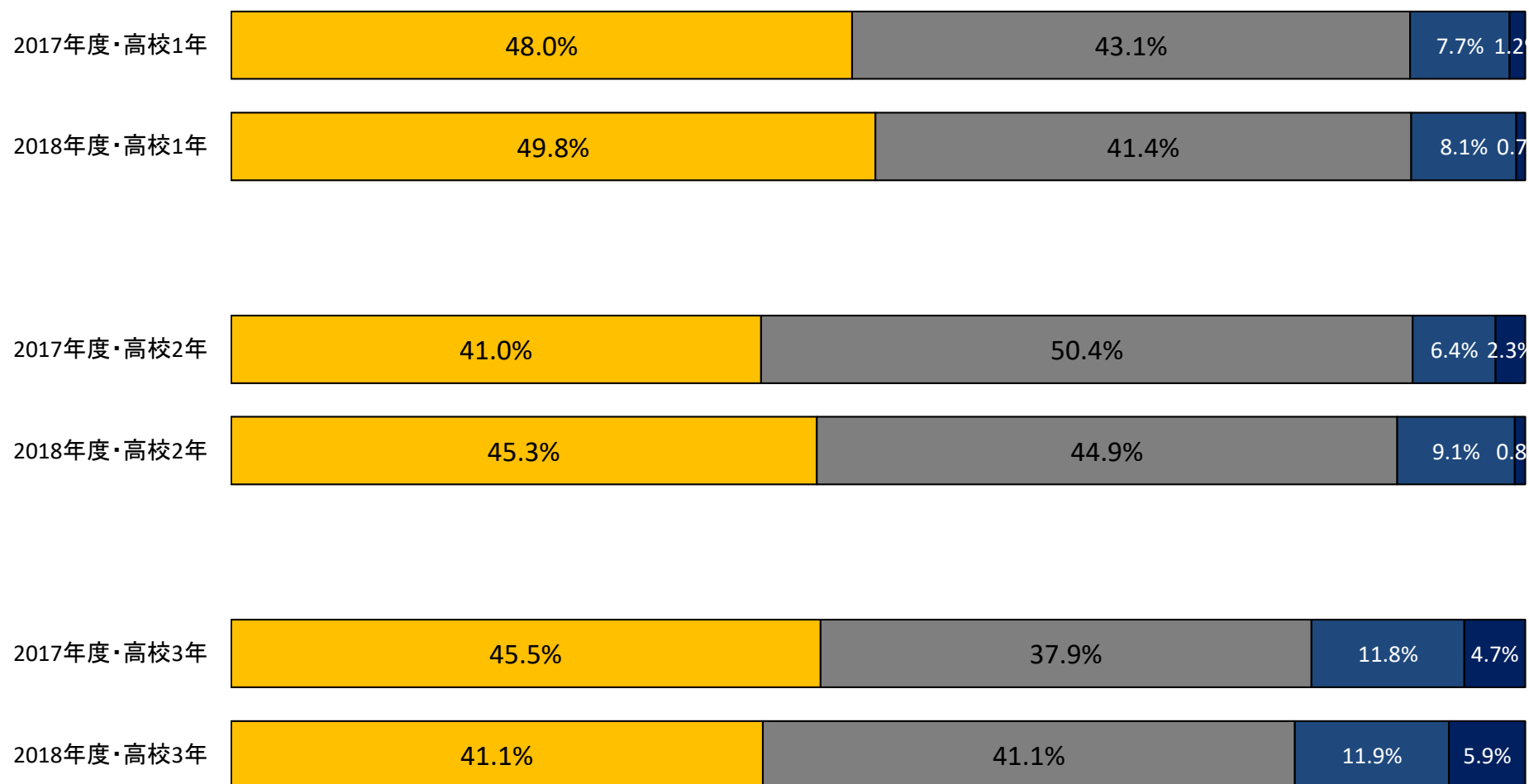
質問B: あなたは、本校への入学を親戚, 友人, 知人に勧めますか？



【質問B】入学推奨度の比較／保護者（2017年度－2018年度） 年度別学年比較

質問B: あなたは、本校への入学を親戚, 友人, 知人に勧めますか？

■ 入学を勧める ■ どちらともいえない ■ 入学を勧めない ■ 無回答



【質問B】相関係数の算出方法と相関係数の目安

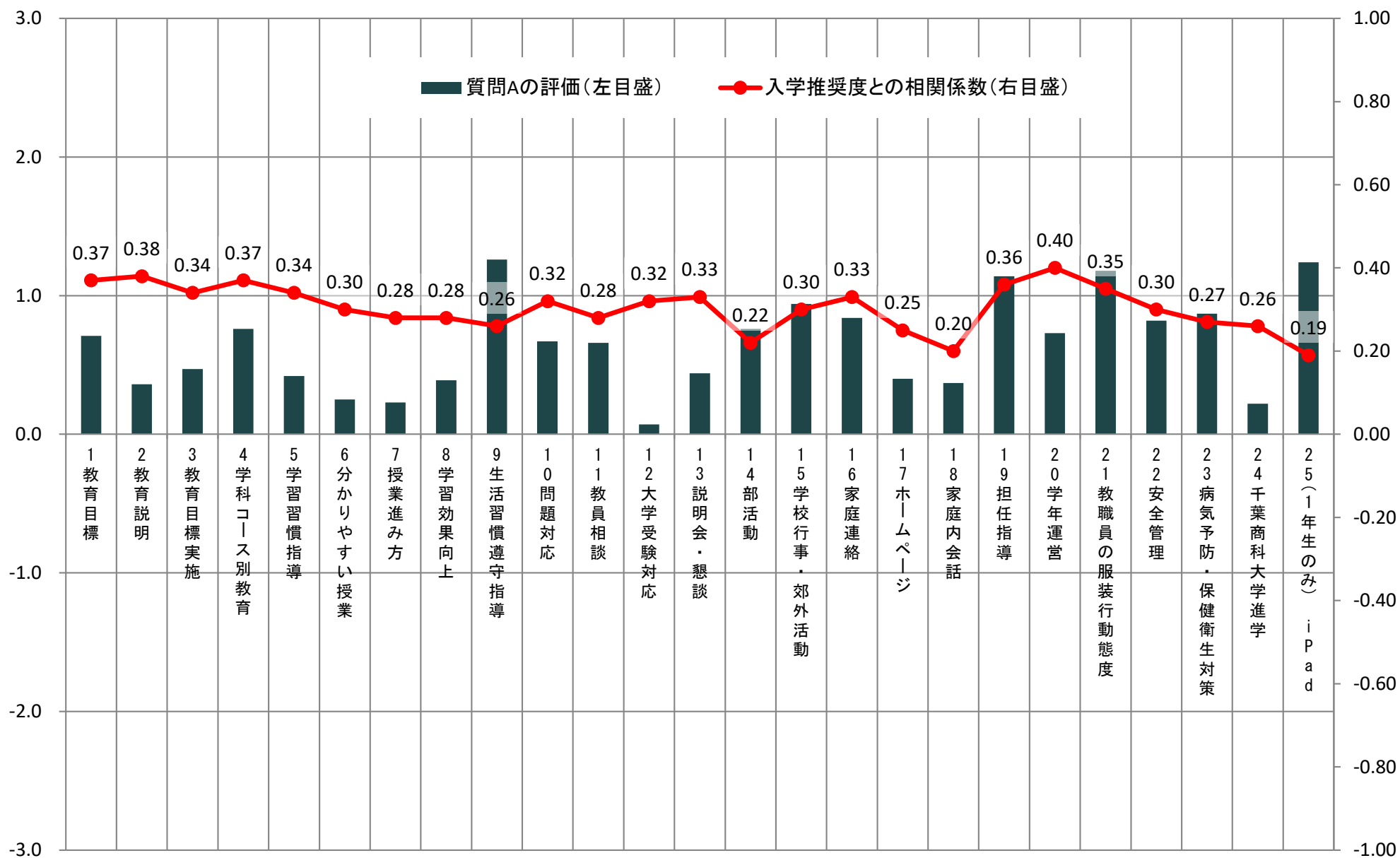
■相関分析・相関係数とは

- 相関分析とは、2変数間の関係を数値で記述する分析方法
- 相関係数とは、相関分析で求められる2変数間の関係の強さを表す指標
- 原則として「-1」～「+1」の実数となり、相関係数が正のときには 正の相関が、負のときには負の相関がある
- 質問Aの各項目の評価が、質問Bの入学推奨度の結果に影響を与えている度合い

■相関係数の目安

+0.50～1	強い正の相関がある項目
+0.1 ～0.49	弱い正の相関がある項目
-0.09～0.09	ほぼ相関がない項目
-0.1 ～-0.49	弱い負の相関がある項目
-0.50～-1	強い負の相関がある項目

「入学推奨度【質問B】」と「満足度【質問A】」の相関 2018年度



「入学推奨度【質問B】」と「満足度【質問A】」の相関 2017年度

